

1. 計画名称

茅野市社会教育推進計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	各施設ともに新型コロナによる影響を大きく受け、閉館や事業の中止を余儀なくされた。年度後半は工夫を重ね、出来る範囲で事業等実施してきたが影響は続いている。「市民の学び、学びの活用、つながり」を支え、コロナ禍での生涯学習を推進していくことが求められている。
今後の重点化施策番号	1	説明	公民館は市民にとって身近な生涯学習の拠点施設となっている。人と人との交流が制限されるなか、やり方の工夫や事業の見直しが求められている。本館・地区館における事業実施とともに、地域における繋がりが途切れないうち支援していく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	公民館の充実	やや遅れている	新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年開催していた事業を中止した。講座については参加人数を減らして実施できたものもあった。施設は工事の予定はなく、緊急対応箇所も予算内で出来る限りの対応ができた。休館や貸館自粛、講座の中止により年間利用者が減となった。	建物及び設備の老朽化。利用団体が高齢化し会員が減少している他、新型コロナウイルスにより活動を自粛し、そのまま解散に至る団体があった。講座や事業については、十分に新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして実施をする必要がある。	施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設備は工事ではなく移動式など簡易的なもので対応できるか検討する。公民館活動は新型コロナウイルスの感染状況により、感染拡大防止対策を十分に行える講座内容や募集人数であるかを検討して実施する。
2	図書館の充実	やや遅れている	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、30日の臨時休館を余儀なくされ、開館後は平日の開館時間を30分短縮した。また、ボランティアグループの活動等により実施してきた行事についても、休止していたが、一部を除き感染症対策を行いながら、再開することができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、引き続き、居場所機能を大幅に制限せざるを得ない。当面、この制限下で工夫をしながらか、行えるサービスを考えていくしかない状況である。	昨年度実施できなかった市民アンケートによるニーズの把握、協議会での意見聴取等により、今後の図書館運営についての検討をしていく。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行う中で、可能なサービスを検討、実施する。
3	八ヶ岳総合博物館の充実	やや遅れている	・収蔵庫の資料整理は、未整理資料、新収蔵資料併せて4,278点の整理ができた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止となったが、星景写真展を開催することができた。これまで、八ヶ岳について聞かれることが多かったが、八ヶ岳の主要峰を記した絵葉書を作成した。	・新型コロナウイルスにより、多くの企画や講座が中止となった。代替企画を考えていく必要がある。 ・日々、寄贈資料があり、これに対して整理作業をしなければならぬが、すぐ対処できず溜まってしまふ。 ・文芸館の展示を、企画展などの開催により、元に戻せない状況にある。	・講座・イベントは、これまでの内容を再検討し、中止や新たに開講していく。 ・収蔵場所については、館外施設も含めて検討していく。 ・新型コロナウイルスに影響を受けない、デジタルを使った、配信などを考えていく。 ・文芸館の資料整理を行い、常設展に戻していく。
4	尖石縄文考古館の充実	おおむね順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、約2カ月の休館、臨時開館日及び無料開館日の取りやめ、感染リスクを評価したうえで体験型講座や展示解説を中止した。入館者数は半減したが、開館していること、また増設したパネルは来館者には好評だった。	今後も新型のウイルスや細菌等による感染症対策は避けられないことから、それらへの十分な対策を講じて、なるべく通常通り開館できるようにする(リスク評価の結果、閉館すべきであれば閉館する決断も必要)。	入館者に付き添っての解説案内はこうした状況下では難しいものの、これまで好評だった解説ボランティア(市民ガイド)の育成を引き続き優先的に進めていく。また、体験学習も実施できる内容と方法を検討して、できるものを実施する。
5	神長官守矢史料館の充実	おおむね順調	・企画展を年間2回開催した。1回の企画展とギャラリートークは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期または中止とした。	・新型コロナウイルス感染拡大により、積極的に集客しづらい状況にある。 ・守矢邸の敷地の購入予算を計上していたが、土地所有者の同意を得ることができなかった。	・企画展については、従来通り行い、内容を、時節に応じたものを開催していく。 ・引き続き、土地所有者と交渉を行う。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など	
関連市民団体等名称	<p><公民館の充実> 地区の拠点として重要な施設。できている講座を参考にできる情報の共有が必要ではないか。</p>	<p>地区公民館とは、月1回の地区公民館主事との定例職員会で、実施講座についても情報共有をしています。また地域の分館については、毎年学習専門委員会が作成・配布している各分館の活動をまとめた冊子に、中央公民館の情報を追加します。</p>	
社会教育委員の会議			
開催回数			1
参加延べ人数			書面開催

<table border="1"> <tr><td>関連市民団体等名称</td><td>社会教育委員の会議</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>1</td></tr> <tr><td>参加延べ人数</td><td>書面開催</td></tr> </table>	関連市民団体等名称	社会教育委員の会議	開催回数	1	参加延べ人数	書面開催	<p><図書館の充実> 図書館を学習の場として利用されている方がいるが、休校などにより利用機会が増える見込みの中で、対策を強化し、制限することなく入館者増を進めてほしい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、やむを得ず閉鎖する場合がありますが、学習スペース・パソコンコーナーについては、感染防止対策を強化して、できるだけ利用していただけるようにします。</p>
関連市民団体等名称	社会教育委員の会議							
開催回数	1							
参加延べ人数	書面開催							
<table border="1"> <tr><td>関連市民団体等名称</td><td>社会教育委員の会議</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>1</td></tr> <tr><td>参加延べ人数</td><td>書面開催</td></tr> </table>	関連市民団体等名称	社会教育委員の会議	開催回数	1	参加延べ人数	書面開催	<p><ハケ岳総合博物館の充実> とても重要な施設だと思いますが、アピールが弱いかもしれません。アンケート等の対策を実施し、利用者増を目指してほしい。</p>	<p>コロナ禍で尖石縄文考古館と神長官守矢史料館との3館のアンケートが実施できていませんが、3館で協力し、集客していく予定です。</p>
関連市民団体等名称	社会教育委員の会議							
開催回数	1							
参加延べ人数	書面開催							
<table border="1"> <tr><td>関連市民団体等名称</td><td>社会教育委員の会議</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>1</td></tr> <tr><td>参加延べ人数</td><td>書面開催</td></tr> </table>	関連市民団体等名称	社会教育委員の会議	開催回数	1	参加延べ人数	書面開催	<p><尖石縄文考古館の充実> 茅野市の観光資源でもあり、関連する企業等と協力し、全国へアピールするべき。ここに注力することで他の文化財の集客を図ってほしい。</p>	<p>観光資源として関連企業と協力することについては、縄文プロジェクトの取組として検討します。</p>
関連市民団体等名称	社会教育委員の会議							
開催回数	1							
参加延べ人数	書面開催							
<table border="1"> <tr><td>関連市民団体等名称</td><td>社会教育委員の会議</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>1</td></tr> <tr><td>参加延べ人数</td><td>書面開催</td></tr> </table>	関連市民団体等名称	社会教育委員の会議	開催回数	1	参加延べ人数	書面開催	<p><神長官守矢史料館の充実> 知名度が低い気がします。前宮等と関連させる等、知名度アップを図ってほしい。</p>	<p>入館者数は、平成3年の開館から13年間は2,000～3,000人の間で推移していましたが、平成16年の御祭祭以降4,000人以上となりました。その後、平成19年の大河ドラマ「風林火山」の時に6,000人以上となり、28年以降は、10,000人を超えるようになりました。守矢史料館の知名度は年々上がっていますので、今後も様々な企画展を開催し、さらに知名度アップを図ります。</p>
関連市民団体等名称	社会教育委員の会議							
開催回数	1							
参加延べ人数	書面開催							
<table border="1"> <tr><td>関連市民団体等名称</td><td>社会教育委員の会議</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>1</td></tr> <tr><td>参加延べ人数</td><td>書面開催</td></tr> </table>	関連市民団体等名称	社会教育委員の会議	開催回数	1	参加延べ人数	書面開催	<p><地域づくり・ひとづくりの推進> 今こそ見直しをする機会だと思います。地元にもどりたいような活動・講座を他県を参考に進めてほしい。</p>	<p>開かれた学校づくり講座やコミュニティスクールなど、地域で活躍する大人たちのロールモデルと接する機会を多数用意し、子どもたちの意識や行動の変容を促します。また、県教委等を通じ、他市町村の先進事例等の情報収集にも努めます。</p>
関連市民団体等名称	社会教育委員の会議							
開催回数	1							
参加延べ人数	書面開催							
<table border="1"> <tr><td>関連市民団体等名称</td><td>社会教育委員の会議</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>1</td></tr> <tr><td>参加延べ人数</td><td>書面開催</td></tr> </table>	関連市民団体等名称	社会教育委員の会議	開催回数	1	参加延べ人数	書面開催	<p><全般> 行政だけでなく、企業を巻き込み、開かれた課題から新たなビジネスが生まれ企業が潤うことで雇用が生まれ、茅野市が元気になると思います。新たな施策を期待しています。</p>	<p>生涯学習と企業がつながるイメージは、これまであまり意識されてきませんでした。ワーラボハケ岳やちの観光まちづくり推進機構等、企業と接点をもつセクションとの連携を模索します。</p>
関連市民団体等名称	社会教育委員の会議							
開催回数	1							
参加延べ人数	書面開催							
<table border="1"> <tr><td>関連市民団体等名称</td><td>社会教育委員の会議</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>1</td></tr> <tr><td>参加延べ人数</td><td>書面開催</td></tr> </table>	関連市民団体等名称	社会教育委員の会議	開催回数	1	参加延べ人数	書面開催	<p><全般> せっかくPDCAという優れた改善ツールを用いながら、その良さを生かせていません。A(次はこうしてみよう!)からP(こうした事業を計画しました!)としてぐるぐる回すことに意義があります。Pが大きすぎるので、DがPと混同されたり、CがPになったり混乱しています。同様の手法を取り入れている地域の企業や行政コンサル、理科大等の専門家と連携して進めるなどし、自分たちの問題解決の道具として使いこなしてほしい。</p>	<p>P(プラン)が「プランもどき」であったり、「計画まがい」であったりすればPDCAサイクルが形骸化してしまう懸念があります。専門家等の知見も参考に、“循環”できるよう研鑽を積みまします。</p>
関連市民団体等名称	社会教育委員の会議							
開催回数	1							
参加延べ人数	書面開催							
<table border="1"> <tr><td>関連市民団体等名称</td><td>社会教育委員の会議</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>1</td></tr> <tr><td>参加延べ人数</td><td>書面開催</td></tr> </table>	関連市民団体等名称	社会教育委員の会議	開催回数	1	参加延べ人数	書面開催	<p><全般> 新型コロナウイルスの感染が拡大し、社会教育推進の各施策に携わっている方々のご尽力もなかなか進捗評価に結びつかず歯がゆい思いをなさっているのではと察します。改革改善にも挙げられていますが、通常の実施は難しいので、この時期ならではの整理整頓や一層ITを活用した情報発信により学習機会を増やすことはいかががでしょうか。縄文、幼児向け運動遊び、リズム遊びやヨガなど好評です。</p>	<p>公民館では、新型コロナ対策のため休館していた間、一部の講座をネット配信しました。今後も市民の学習を支援できるよう、新たな講座メニューを検討するとともに、講座名や開催時間、インターネットの活用も含めた開催方法などを検討し、新たな講座参加者が増えるよう努めます。</p>
関連市民団体等名称	社会教育委員の会議							
開催回数	1							
参加延べ人数	書面開催							
<table border="1"> <tr><td>開催回数</td><td></td></tr> <tr><td>参加延べ人数</td><td></td></tr> </table>	開催回数		参加延べ人数					
開催回数								
参加延べ人数								

5. 添付資料
別紙「施策評価シート」

3.各施策等における評価内容と改革改善(5つ目以降)

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
6	地域づくり・ひとづくりの推進	やや遅れている	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、年度前半は中止した事業が多かった。後半はできる事業から再開したが、感染の再拡大により、成人式や人権教育研修会など中止せざるを得ない事業もあった。	新型コロナウイルス感染拡大は、地域づくり・ひとづくりに不可欠な集まって学習する機会を奪ってしまった。自然体験を通じた学習などオンラインでは開催が難しい事業もある。	コロナ下にあっても、密にならずにできる方法を考えたり、感染対策を強化したうえで実施することを検討するなど、市民の学習機会を減らさないようにする。
7					
8					
9					
10					